

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	老人クラブ活性化促進事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	老人福祉法(昭和38年、法律第133号)第13条の2	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="14"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		高齢者福祉			
施策	4	高齢者福祉の推進			
基本事業	1	いきがいと健康づくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市老人クラブ連合会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市老人クラブへの運営費の助成、各種の情報提供及び地域包括支援センターとの交流会の開催等を通じ、老人クラブ活動の活性化を目指す。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	「第6期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定年度であるため介護保険制度改正等の動向や、高齢者のニーズ調査結果及び策定委員会の意見を踏まえて検討していく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		個別活動参加率	28.1	29.8	30.0	30.0	30.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	例年の取組を継続(①連合会への補助、②介護予防・友愛活動への支援、③介護予防リーダーの活用、④友愛訪問員との「ひとりぐらし高齢者連絡カード」による連携)。「第6期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に際し、策定委員会(会長)及び意見交換会(地区のクラブ代表)において意見をいただき、意見をもとに計画内容の検討を行った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	会員数	3,194	3,026	3,100	3,150	3,200	人
	2	個別活動参加者数	854	777	800	850	900	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	個別活動参加率		26.7	25.7	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			86.2	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	2,054	0	0	1,028	3,082
		全体予算額		0	2,054	0	0	1,028	3,082
		決算額		0	2,054	0	0	1,028	3,082
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.1		688		3,770			

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	3,082	3,082	3,082	3,082	3,082
	うち一般財源	1,028	1,028	1,028	1,028	1,028
	人件費	652	688	688	688	688
	総事業費	3,734	3,770	3,770	3,770	3,770

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		支援内容の検討(工夫)により、効果の向上の可能性はある。
	効率性	A:効率的だった		連合会事務局(社協)との連携による事業の実施に努めている。
②成果に対する評価	指標名	個別活動参加率		参加率(参加者数)は前年度を下回っているものの、イベントの開催は継続できており、概ね目標を達成できたと判断した。
	目標	29.8	%	
	実績	25.7	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		活動支援としては継続できているが、会員数の拡大に向けた取り組みについては検討が必要である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現会員に対する健康づくり・生きがいがづくりへの活動支援はできていると考えているが、会員数の減少に歯止めをかけることはできていない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	①クラブ活動支援を、介護予防普及啓発事業とマッチングさせることにより魅力ある健康づくり・生きがいがづくり活動へとしていく。 ②若手委員会と連携により介護予防リーダーの活用方法を検討し、前期高齢者の会員拡大を図っていく。 ③平成28年度から開始される介護予防・日常生活支援総合事業において、サービス提供主体として介護予防リーダーを中心とする老人クラブの活用を検討する。			
	H28年度	同上			